

リハビリテーション学科

理学療法学専攻 physical therapy

3年制・男女・昼間(80名)

2009年
新設

基本的な日常活動を回復させる それが理学療法士の仕事。

理学療法とはリハビリテーションの一分野で、立つ・歩く・寝る・起きるといった基本的動作における障害、筋力や持久力の低下、腕、足、関節の痛みなどを改善し、健康な状態に回復させることをいいます。理学療法士になるには、人を思いやる心である「情意」、あらゆる障害に

対処できる「知識」、そして障害を克服できるように導く「技術」の3つの能力が揃っていることが条件です。さらには、チャレンジ精神を持ち、正しい理学療法の在り方を積極的に広めていく姿勢も必要になります。理学療法士の仕事は、地道で長い時間を必要とするものですが、ハンディキャップを抱えた人々とともに障害を乗り越えていくなかで、人間の勇気や素晴らしさを心から感じることができるのです。

学びの特色

1. 岐阜保健短期大学 リハビリテーション学科理学療法学専攻は充実した3年間のカリキュラムで理学療法士を養成します。専門学校教育で培ったノウハウと実績を短期大学教育に活かし、現在社会が必要とする理学療法士の養成をします。
2. 3年過程だから一歩先に臨床にたちます。
濃密なカリキュラムを履修することにより、経済的にも時間的にも有利です。卒業後は「短期大学士」の学位が授与されます。
3. 国家試験対策には万全のサポートを。
2年次から国家試験対策を開始し3年次には各種模擬試験を実施。国家試験前には、国家試験過去問題の平均得点は94点(H20・専門学校にて)まで指導を行います。万一国家試験に不合格になった場合も、合格までの受験指導は責任をもって行います。
4. 就職は100%
岐阜県内を中心に東海3県で78%就職しています。出身地への就職を含めると94%(H20・専門学校にて)それ以外に進学の道も開かれています。
5. 臨床で必要となるものは理学療法に関するものだけでは不十分です。医療人としてのマナーなど、在学中に担当教員とともに医療人として優れた人材を養成します。

リハビリテーション学科理学療法学専攻の教育目標

豊かな人間性、確かな知識・技術を背景とした実践力、ならびに研究的・教育的資質を兼ね備えた指導的役割を果たす臨床家の育成を行う。

指導的役割を果たす臨床家

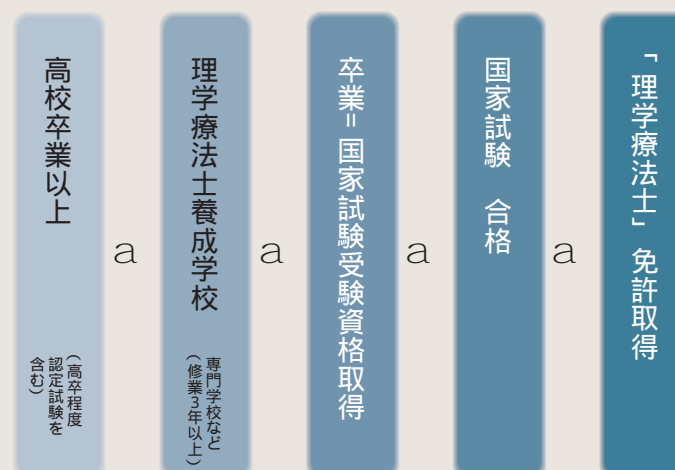
豊かな人間性

確かな実践力

研究的・教育的資質

理学療法士になるには

高卒以上で、理学療法士養成の学校で3年以上修業した後、国家試験に合格して資格が得られ、右記のような職場で働くことができます。常に変化する医療・介護業界に対応するため、就職後も勉強は欠かせません。



理学療法士が働く場所	
医療施設	病院(総合病院、一般病院ほか) 診療所 リハビリテーションセンター など
小児施設	児童福祉施設 養護学校 など
介護保険施設	介護老人福祉施設 老人保健施設 など
行政機関	県 市町村 保健所 保健センター など
教育研究機関	大学 短期大学 専門学校 など
その他	身体障害者更生相談所 身体障害者福祉センター 訪問介護ステーション 有限会社・株式会社等の企業 トレーナーとしてスポーツ選手と個人契約 など

入学から卒業後の進路まで

